

We Guard All

トップメッセージ | 高谷 康久

さらなる成長へ向け
「選ばれる企業へ」

株主・投資家の皆様へ

E-G通信 2021年度 上期
2020年10月1日～2021年3月31日

成長市場を的確に捉え、
引き続き増収増益を達成しました。

コロナ禍が長期化する中で、リモートワークなどへの転換が進み、個人のインターネット滞留時間が増加するなど、人々の働き方や暮らし方も大きく変化しています。こうした変化はコロナ禍終息後に元に戻るとは考えにくく、社会の在り方が不可逆的に変化していると捉えられます。当社はその変化の中で、ますます不可欠となるインターネットの安全を守ることで、社会的責任を果たし、高成長を実現してまいります。皆様の一層のご支援を賜りますように、お願いいたします。



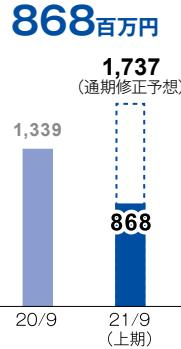
代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト

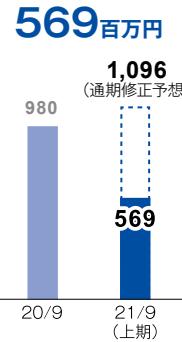
売上高



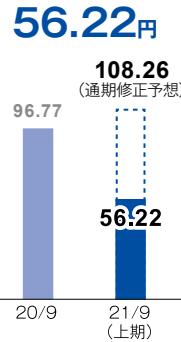
営業利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



1株当たり四半期純利益

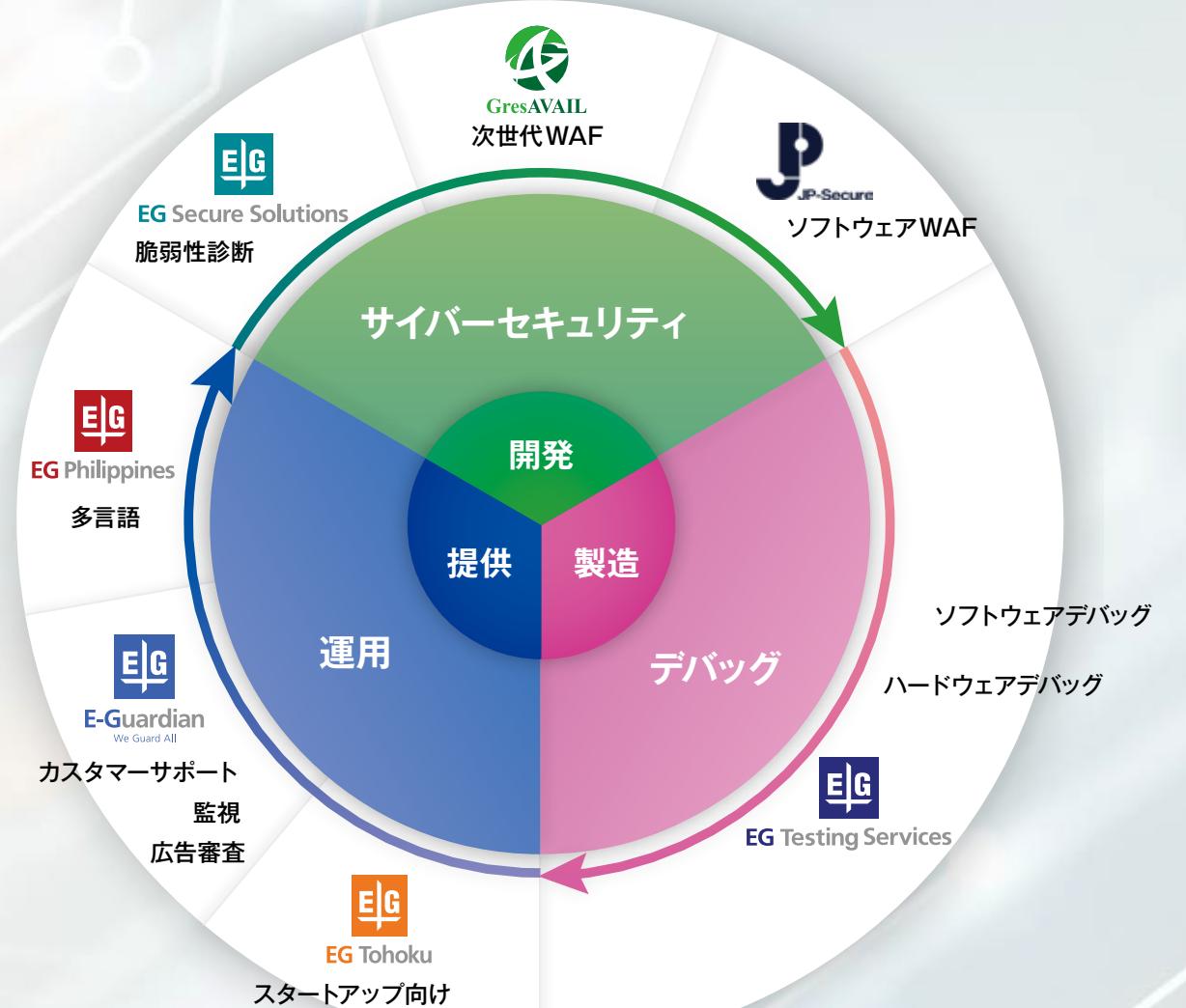


※2021年5月に通期予想を上方修正しております

Point 引き続き動画監視が伸長

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛が続く中で、当社は引き続きコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。また、セキュリティ分野においてもグループシナジー発揮に注力し売上を伸ばしました。

インターネットサービスを上流から下流まで支える
セキュリティのワンストップサービス



※WAF:Webアプリケーションファイアウォール

2021年度下期は、大幅に増加した動画監視に引き続き注力するとともに、セキュリティ分野のシナジー効果の最大化を追求します。

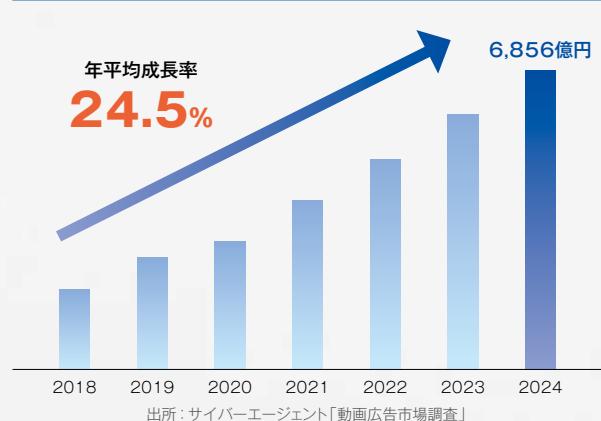
2021年度上期の振り返りを お願いします。

2021年度上期も大幅な増収増益となり、通期の業績予想を上方修正しました。これまで6期連続の2ケタ増収、増益を続けていますが、2021年度もそれを更新することができると確信しています。上期で伸びが大きかったのがソーシャルサポートで64%の売上増です。これは、コロナ禍で多くの人々がネットに滞留する時間が増えマーケットが拡大しているという理由と、当社が新たな大口顧客を獲得したという理由が重なったの増加です。同様に、アドプロセスについてもマーケットの拡大により20%の増加を達成しています。ゲームサポートについてはマーケット自体が伸び悩みの傾向にあり、当社の売上は11%減少しましたがそれを補って余りある業績となっています。

注力されているセキュリティ領域について 上期の結果はいかがでしたか。

昨年10月にジェイピー・セキュア社をM&Aで傘下に収めました。ミドルクラスのWAFを得意とし、顧客も多く実績のある同社を傘下に加えたことで、上期のセキュリティ部門の伸びをジェイピー・セキュア社が牽引

成長市場である動画案件獲得に引き続き注力 動画市場推移



するという絶大な効果が生まれています。2019年度にグレスアベイル社を子会社化して、サイバー攻撃からウェブアプリケーションを守るためのクラウド型・次世代型WAF「GUARDIAX」を開発しましたが、このGUARDIAXの販売を知名度のあるジェイピー・セキュア社が手掛けたことも業績に貢献しました。

また、このM&AによりWAFの一般クラス、ミドルクラス、ハイクラスのすべてをカバーできるフルラインナップが完成しました。

さらにWAFと脆弱性診断の両方を持つのは当社の

強みであり、すでにそのシナジー効果として脆弱性診断の受注が2割程度増加するという、想定外の結果も上期に生まれています。顧客企業からは最初にセキュリティ対策に関する相談があるのですが、本来はセキュリティ対策と脆弱性診断はセットで行うことが理想です。しかし、当社も含めてこれまではどこもセットで提供できていませんでした。当社のM&Aにより、実はここに潜在的ニーズがあることが顕在化したわけです。この成果もさらに確固としたものにしていきます。

2021年度下期の戦略について 教えてください。

今期の社内の経営方針として顧客満足を超える「顧客感動」を掲げています。顧客感動が実現できれば、自然にリピーターは増加し、他社の製品・サービスから

当社へのリプレースも進みます。そうしたクオリティを目指しつつ、具体的には下期はまずシナジー効果の追求です。これまでM&A等によって商品・サービスのラインナップを拡充してきたことで、すでに1つの顧客に対して多様なサービス・商品の提供が可能になっているため、新規顧客の獲得はもちろん、各顧客に対してのニーズの深耕を追求します。

それから、下期の新しい取り組みとして、フィリピンに続いてベトナムに海外拠点を開設します。フィリピンは主に英語対応の拠点ですが、ベトナムの新拠点はパイロット的にそれ以外のことにもチャレンジします。具体的には中国語対応の人材を戦力化することに加えて、日本語を話せるベトナム人を雇用する予定です。日本では地方でも若者人口が減少して、今後の安定的な人材確保が懸念されるため、ベトナムからの日本国内へのサポートにもチャレンジします。

"WAF"はサイバー攻撃を遮断するwebセキュリティサービス



6年連続2ケタ成長と拡大が続いている強みは何でしょうか。中期的成長に向けた展望も教えてください。

持続的成長の根拠としては、インターネット関連のマーケット自体が着実に成長していることと、それに対応できるようにM&A等を先行させてきたことが挙げられます。

その上でさらに長期的な展望としては、現在のようなネット上の監視業務だけでなく、真の意味で総合的セキュリティ企業に成長していく目標を描いています。その目標から比較すると、現在の当社にはまだ一部のレイヤーのパーツしか揃っていません。この

ITやインターネットの世界は広大で、OS (Operating System) やアプリケーションソフトというレイヤーがありますし、家庭用PCや個人の使用するスマートフォンというマーケットもあります。これらの膨大な分野のセキュリティのうち、現時点では法人向けのごく一部しか実現できていません。それを目指す上での足場として、GUARDIAXなど世界で通用するオリジナル商品を提供できる強みがあり、海外展開の足場も築いています。これを基盤にM&A等も駆使しつつ事業開拓を行い、総合的セキュリティ企業へと羽ばたいていきたいと考えています。

すべて自社開発によるWAFのフルラインナップを揃えた

	対象	WAF	競合
規模 ↑	大	動画プラットフォーム 金融 TV局 ECプラットフォーム	AI 次世代型
	中	レンタルサーバ事業者 公共機関 製造業 流通業	ソフトウェア型 ・NEC
	小	自社Webサイト 自社ECサイト スタートアップアプリ 小規模サービス	クラウド型 ・サイバーセキュリティクラウド ・セキュアインペーション ・セキュアスカイ・テクノロジー

E-Guardian
We Guard All

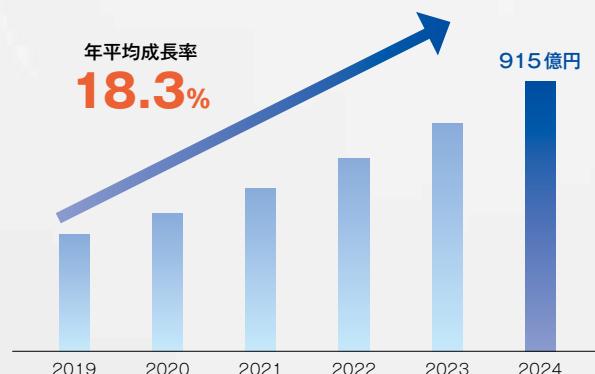
GUARDIAX
国内初の次世代型 (コンテナ型)

JP Softbank
国内利用サイト数 No.1 ソフトウェア型

GresAVAIL
次世代型を改良したクラウド型

サイバーセキュリティ市場は拡大がづく

国内SaaS型セキュリティソフトウェア市場



出所：IDC Japan「国内の情報セキュリティ製品市場とセキュリティサービス市場の2020年から2024年までの予測」

最後に株主様へのメッセージをお願いします。

当社は今後も2ケタ成長の継続を実現し株主還元にも努めてまいりますので、引き続き株主の皆さまの一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

代表取締役社長
高谷 康久



会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
 代表者名 代表取締役社長 高谷 康久
 設立 1998年5月
 資本金 36,428万円
 従業員数 連結1,934名(うち臨時従業員数1,560名)
 本社 〒105-0001
 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F
 TEL: 03-6205-8857 FAX: 03-6205-8858

関連会社

- EGセキュアソリューションズ株式会社
- 株式会社グレスアベイル
- 株式会社ジェイビー・セキュア
- EGテストングサービス株式会社
- E-Guardian Philippines Inc.
- イー・ガーディアン東北株式会社

株式情報 (2021年3月31日現在)

株式の状況

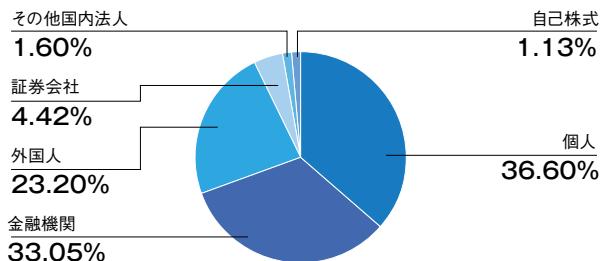
発行可能株式総数 32,400,000 株
 発行済株式の総数 [うち自己株式 117,602 株] 10,405,800 株
 株主数 8,252 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	932,700	9.07
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	880,780	8.56
高谷 康久	661,904	6.43
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	559,900	5.44
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	529,317	5.14
ジェイビーエスピーエル ノムラ インター ナショナル ビーエルシー 1 コル エクイティ	450,718	4.38
野村信託銀行株式会社 (投信口)	195,400	1.90
J. P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	180,600	1.76
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウト ジェイビーアールデイ アイエスジー エフイーー エイシー	162,150	1.58
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	157,300	1.53

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。
 3. 自己株式には役員向け株式交付信託が保有する当社株式(157,780株)は含まれておりません。

所有者別株式数の分布状況



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL
<https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/0/6050/index.html>



イー・ガーディアン株式会社
<https://www.e-guardian.co.jp/>

〒105-0001
 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F
 TEL:03-6205-8857 FAX:03-6205-8858

